

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none">1) 園での生活を通じ、思いやりのある子に育てます。2) お子様のご家族の皆様にご喜ばれる価値のある地域密着の保育園を目指しております。3) 地域に必要とされるため、徹底したサービスを提供し、豊かな暮らしを提供したい。4) お子様達は、保育士や友だちとのつながりを広げ、身近な人との関りを大切にします。5) 一人ひとりの子どもの気持ちを大切に、受入れを尊重します。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>子どもが好き！よりも大好き！！であり、一人ひとりの見極め・応じられる保育者であり、保護者との信頼関係、職員同士の協調ができること。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの安全を第一に、体を張って守れること。 小さな変化や危険を察知し、未然に防げること。 保護者の悩みや体調面にも気づき声掛け等相談にも乗れるように接する。</p>

調査対象

当園に通う園児は13名です。兄弟姉妹がいまませんでしたので13名、13世帯を調査の対象としました。

調査方法

保護者には、調査の趣旨や記入方法を記載した表紙をつけたアンケート用紙を園から保護者に配付しました。回答用紙は、保護者から直接評価機関に送付してもらいました。

利用者総数

13

利用者家族総数(世帯)

13

共通評価項目による調査対象者数

13

共通評価項目による調査の有効回答者数

8

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

61.5

利用者調査全体のコメント

施設に対する総合的な満足度としては、「大変満足」6名(75%)、「満足」2名(25%)で回答者全員が満足以上を選択しています。コメントでは、「とても満足しており特に不満はないのですが、先生方の人数が足りているのかなと思うことがあります。新しい先生が入ったと思ったら、居なくなっていることが何度かあって、一時的なヘルプだったのか、すぐ辞めたのか分かりませんが、少し気になりました」「洋服のストック運用が不明瞭で、何をどれほど持って行くべきなのか分からない」「濡れた洗濯物は園で多少乾かした上で、他の洗濯物と一緒にしてほしい」との声がありました。今回の調査については、「このような評価をするのはあまり気が進みません。保護者の評価を気にせず、先生方には先生方のスタイルで楽しく働いて頂きたいです」との声が寄せられました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	8	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントでは、「色々な子たちと遊んだり、物を貸し借りしたり、たくさんのことを学んでいると思います」「小規模保育園だと下の歳の子や上の歳の子とも遊べるのでよいと思います」との声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	8	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	7	0	0	1
回答者の87.5%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	7	1	0	0
回答者の87.5%が「はい」を選択しています。コメントでは、「散歩に連れて行ったり、行事も積極的にやってくださっているので、とても有難く思っています。周りに自然がない環境ですが、確保できるよう努力して下さっていることがとても伝わります」との声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	7	1	0	0
回答者の87.5%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	6	2	0	0
回答者の75.0%が「はい」を選択しています。コメントでは、「コロナのこともあり、中に入れる機会が少ないため、中の状況はよく分からないです」との声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	4	4	0	0
回答者の50.0%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	7	1	0	0
回答者の87.5%が「はい」を選択しています。コメントでは、「お迎えに行くと、いつも今日の様子や心配ごとなど、本当によく聞いてくれるので助かっています」との声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	7	1	0	0
回答者の87.5%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	8	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	7	0	0	1
回答者の87.5%が「はい」を選択しています。コメントでは、「ちょっとぶつけてケガをした時も、その時の経緯をちゃんと説明してくれました」との声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	3	1	0	4
回答者の37.5%が「はい」を選択しています。コメントでは、「子どもがおこって物を投げつけた時、共感した上で論してくれたり、ちゃんと対応してくれていると感じています」「まだ経験がないので不明」との声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	8	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントでは、「イヤイヤ期の子に対しても、向き合ってくれているので感謝しています」との声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	8	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択しています。コメントでは、「そういった場面に出くわしたことがないのでよく分かりませんが、守ってくれるだろうと信頼しています」との声がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	6	2	0	0
回答者の75.0%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	6	1	0	1
回答者の75.0%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	1	0	4
回答者の37.5%が「はい」を選択しています。コメントは、ありませんでした。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	<p>園の理念や保育方針は入園案内に明示するほか、ホームページでも広く伝えています</p> <p>園の理念と保育方針は、入園時に入園案内や重要事項説明書で説明し、ホームページでもわかりやすく伝えています。理念では、思いやりのある子どものこころを育てることを中心に、地域と密着した活動をを進めることを伝えています。保育指針では、園での生活を通して、子どものあそび、健康、体づくり、表現の力を育てるという考えを掲げています。職員や保護者等には、少人数ならではの園の特徴を生かし、日常の保育のなかで一人ひとりの子どもたちへの関りで、理念や方針の考えを生かした保育に取り組むことを伝えています。</p> <p>園長の役割は運営規定に明記し、職員会議や日常の保育活動でその責任を伝えています</p> <p>園長の役割や責任は園の運営規定に明記されています。保育理念である、「園での生活を通じ思いやりのある子どもを育てます」の目標に向かって園長としての職責に沿って業務を遂行しています。今年度は、新規園としての土台作りの年として、日常の保育活動の中では各年齢ごとのクラスを担任と一緒に受け持ち、職員や保護者と交わる中で運営管理者としての具体的な役割と責任を職員に伝えています。園長は職員との話し合いを大切に、話し合いのなかで考えを伝え理解を促しています。</p> <p>園運営に関する重要な案件は、経営層が決定し職員会議での話し合いで周知しています</p> <p>園運営に関する重要な案件や行政からの通達への対応は、園長が決定しますが、内容により経営層の意向も確認し意思決定しています。職員には、職員会議や朝の会で説明しています。職員との検討では、いろいろな意見が出されますが、自由に討論される雰囲気での話し合いを進めています。担任の異動などの案件は、保護者はじめ職員など園関係者に伝え、漏れのないように努めています。行事等の案件は「園だより」で伝えるほか、きめ細かく掲示や送迎時に口頭で知らせています。</p>	

カテゴリー2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○●●)
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>高層マンションの完成とともに開園し、来園した見学者からニーズを把握しています</p> <p>高層マンションの完成と共に開園しました。駅に近いことや区の新園整備が完了し最後の新規園になったことで、関心が高く多数の見学希望が来園しています。見学希望者から入園者を募って園児数確保に取り組んでいます。しかし、入所条件に照らした結果、辞退者もあり成果がまだあげられていません。開園時は、2歳児の入園がなく定員割れに終わりました。次年度以降は進級児と入園児の構成による増員を期待しています。また地域の小規模連絡会に加入して、区の事業所相談会に参加し、当園の紹介をするなど園の認知度を高める努力をしています。</p> <p>次年度以降の着実な積み上げを構想して、中・長期計画策定に着手しています</p> <p>本年を新規園の土台作りの年とし、次年度以降の園の認知度を確実に積み上げるべく中・長期の事業計画を構想しました。5年後までの数値目標を設定し、数値的な年度別損益計画書を作成しました。しかし目標を達成するための具体的内容の検討がまだ十分におこなわれておらず、中・長期の計画策定に至っていません。待機児童対策が進み小規模連絡会においても定員割れの情報があるなかで入所率を向上するには厳しい環境にあります。特に新園の立ち上げに保育士不足は大きな課題であり、採用の困難も計画の策定を難しくしています。</p> <p>保育サービス面の取り組みは円滑ですが、組織マネジメント面では課題も見られます</p> <p>開園1年目ですが年間の保育や行事計画は、姉妹園の実績を参考にしたり、職員の培われた経験と「保育実践振り返りシート」をもとにした園長との意見交換、日常の保護者との対話により見直され円滑に運営されています。しかし組織マネジメント面では園の事業計画として方針や課題に対する方策を文書にしたものがなく、検討時に経営層と職員との課題に対する考え方に温度差が見られます。方向性を明確に文書化し、これをもとにした職員との話し合いによって課題を共有して事業運営の円滑化を図ることが望まれます。</p>		

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

職員の守るべき規範や倫理は、就業規則の服務規律に明記されています
 職員の守るべき法・規範・倫理は、「就業規則の服務規律」に記載されています。服務規律の「服務の原則」に法令、規則、その他の規定の遵守が記載され、「服務の心得」には職員の心得るべき内容が項目別に記載されています。職員には採用時に就業規則の説明をします。園長は業務の中で必要が生じたときは朝の会で都度注意喚起をしています。区主催の保育者実務研修や外部の研修で職員の育成に関連するテーマが開催されれば職員が参加しますが本年度はその機会がありませんでした。

苦情相談は重要事項説明書の「要望・苦情に関する相談窓口」で紹介しています
 苦情相談では、相談窓口担当者を設定し、面談や電話を受けています。また投函箱を設置し文書での相談も受け付けられるようになっています。相談窓口担当者が不在の場合には、職員誰にでも申し出ることができます。他に第三者委員や、区の子ども施設入園課にも相談できることを利用者に伝えています。重要事項説明書には虐待防止のための責任者の設置や体制の整備、職員に対する研修の実施等の措置を講じることが明記されています。虐待の発生や兆候が疑われる場合は、虐待防止マニュアルに基づいて対応することになっています。

保育理念では地域密着の保育園を目指していることを掲げ、地域との交流に努めています
 保育理念に「お子様のご家族の皆様にご喜ばれる価値のある地域密着の保育園を目指す」ことを掲げ、新園として地域密着を目指す園の認知度を高める努力をしています。駅に近い新築の高層建物内に位置する、当園には、多くの見学者があり園の紹介のかたわら見学者のニーズも把握し地域と関係を強める取り組みを模索しています。一時預かりや、将来卒園児が集まれるようなスペースと環境作り、グループによる見学会の実施、ホームページへの動画の導入などを進めることで、園の活動が見えるような工夫をして透明性を高めることに努めています。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **3/5**

評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇●●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
感染症対策や保育中、散歩中の事故などのリスク低減に気を配っています 今年度は、新型コロナウイルス感染症対応を最優先にし、行政のガイドラインや区からの通達に沿った対応を進めています。不審者への対応、衛生管理、食物アレルギーのマニュアル等は姉妹園のマニュアルや区のマニュアルなどを参考に園独自で作成し完備しています。散歩中や日々の保育の中で確認されたリスクは、その都度どのような事故に結びつかを話し合い対応を検討しています。ヒヤリハット事例が発生した場合、職員会議や朝の会でリスクの回避や軽減方法を協議し職員に周知しています。		
開設後の順調な園運営に向け、職員が一丸となって取り組んでいます 目標だった新園を開設し、園の安定した運営に向け職員は総力を挙げて取り組んでいます。災害時の対応では、BCP(事業継続計画)の策定に至っていませんが深刻な災害に遭遇した時の避難などの対応は職員に伝えていきます。園のある建物は大きく警備も万全で自然災害や不審者侵入などに対する安全性は高いです。一方円滑な事業の継続を阻害する身近な要因として、深刻な人手不足の問題があげられます。現在、保育士の欠員が発生しており、園長をはじめ職員間で調整し都度克服しています。		
重要書類は鍵のかかる書庫に保管し、園長以外は開けられないことを周知しています。 重要な書類等は鍵のかかる書庫に保管し、園長以外は開けられないことを職員に周知・徹底しています。重要な電子データが保存されているパソコンは園長のみでの使用と限定しています。そのほかの必要な情報は電子化されて職員はひとりずつのパスワードを持ち園内では、情報端末で必要な時にいつでも見られるようにしておりますが、外部との通信は出来ないように設定されています。個人情報については「個人情報の取り扱いに関する規定」で、個人情報に係る安全管理、第三者提供の取り扱い、保護者からの開示の手続き等について規定し職員に周知しています。		
カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <p style="text-align: right;">評点(●●)</p>		
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(○○●●)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
○あり ●なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評		
職員の採用では、子どもが大好きで子どもに好かれる元気な保育士を求めています 職員の採用は、保育の専門紹介サイトやハローワークなどで進めています。職員には、子どもが「好きよりも、大好き」であり、保育士と子どもの二つの目線で見ることができる、子どもに好かれる元気な保育士を求めています。採用時の面接では、人柄を重視し保育のスキルは入園後のOJTや研修などで伝えることも可能としています。職員の意見や要望を聴き取ることが大切と考え職員面談をおこないました。職員の意見や要望を園の運営に生かすことが大切と考え、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。		
保育園の質を高めるためには、計画的研修による職員の成長が必要と考えています 保育の質を向上させるには、職員一人ひとりのスキルや意識を高めることが必要と考えています。現在開園して間がないため、まず、日々の保育の安定を最優先課題として取り組んでいます。園運営が落ち着いてきた段階で、早期に職員の計画的な育成に取り組むことが必要と思われます。職員の成長は園の質の向上と密接に結びついています。今年度は、区のキャリアアップ研修や新人研修、中堅職員研修に参加しスキル向上を進めています。コロナ禍のため年度後半から研修参加が厳しい状況になりました。職員育成には、計画的な研修参加が大切と考えています。		
保護者との信頼関係、職員間のコミュニケーションを大切にしたり取り組みを進めています 職員には、保護者との信頼関係や職員間でのコミュニケーションの大切さを伝えていきます。また、開園して1年未満ですが保護者からは今回の利用者アンケートで高い信頼を得ていることが伝わりました。職員一人ひとりが一生懸命に保育に取り組んだ結果だと思えます。まだ取り組むべき課題は多く見られますが、次に、職員間のコミュニケーションづくりに取り組むことが大切と思われます。職員との定期的な話し合いを通じた職場環境づくりは組織運営の基本です。良好なコミュニケーションは保育の質の向上につながります。早期の取り組みが期待されます。		

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題・目標・背景】昨年4月に開園したため、まだ、多くの課題が見られる状況ですが、今年度は、園運営の安定と保育の充実に力を入れて取り組んでいます。

【取り組み】今年度は、園長の考えている、「子どもの主体性を育む保育」の実践に取り組んでいます。園内の活動では、子どもたち一人ひとりのやりたい事とやろうとしていることをしっかり受け止めること、保護者からの意見や要望もしっかり聴き取り信頼関係を築くことに取り組んでいます。また、地域の方に認知してもらうことも大切と考え、園見学での対応では笑顔を大切に、丁寧な接遇を進めています。

【取り組みの結果】取り組みを進めたことで、保育の取り組みについては安定してきていますが、日々の保育での、職員間のコミュニケーションについて課題がまだ見られ、改善の取り組みが必要と感じています。

【振り返り・検証】さらなる保育内容の向上を進めるためには、職員間のコミュニケーションの改善が必要で、次年度のスタートに向けて取り組み内容の検討を進めたいと考えています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【目標の設定と取り組み】昨年4月に開園し1年未満のため、まだ多くの取り組むべき課題や改善点があると認識しています。園長は子どもたちや保護者との関係では「子どもの主体性を育む」の考えを大切にしています。子どもたちが、やりたい事、やろうとしていることをしっかり受けとめることで子どもたちや保護者との信頼関係を高めることに力を入れています。

【取り組みの検証】その結果今回の利用者アンケートでは保護者からの高い評価に結びついています。区の担当者から、毎月の訪問で言葉かけや保育の場面での対応・関りなどのアドバイスを御得職員間で改善を進めたことの結果だと思います。日々の保育を進める中で、職員とのコミュニケーションや職場環境づくりでは、人間関係の部分で一部課題も見られました。本園は少人数の職員で保育がおこなわれていますので、良好な職場づくりや職員間の協力体制への取り組みが大切です。基本は定期的な話し合いの場で、いろいろな意見を出し合い職員が納得感を持ち保育に取り組める環境を整えることだと考えます。定期的な話し合いの場づくり、いろいろな意見を言い合える環境づくりをスタートさせることが期待されます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題・目標・背景】開園当初からコロナ禍のため、今年度は、感染予防対策に多くの時間と労力をかけました。区等からの通達などを参考にし、感染予防対策に取り組みました。

【取り組み・取り組みの結果】衛生管理マニュアルにもとづき、子どもたちには消毒、手洗いなどの基本をしっかりおこなう事や午睡時・食事時の子どもたちの間隔を空ける、バギーにのせる子どもの人数を減らす、口に入れるものは別消毒などの感染予防をおこないました。保護者対応では、玄関での受け入れ、受け入れ時には検温や手指消毒などの対応をおこないました。

【振り返り・検証】このような取り組みを徹底しました。来年度も、コロナ感染症については継続して基本対策を進めることとしています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【目標の設定と取り組み】本園は、コロナ禍での開園になったため、本年度は、コロナ対策を重要課題として取り組んでいます。衛生管理マニュアルにもとづき、子どもたちには消毒、手洗いなどの基本対策のほか、午睡時・食事時には子どもたちの間隔を空ける、バギーにのせる子ども数を減らす、口に入れるものは別消毒などの感染対策をおこないました。また、保護者対応では、玄関での受け入れ時には、検温、消毒などの対応をおこないました。

【取り組みの検証】基本的な感染対策に取り組みました。今後も継続して予防対策を進めていくこととしています。次年度は開園2年目を迎えるため、コロナの感染状況をふまえ保護者対応や地域との交流などにも取り組みたいと考えています。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリ-1の講評		
<p>ホームページでは園の紹介や園の生活など必要な情報を保護者に発信しています</p> <p>ホームページ「園の紹介」では、保育方針として「園生活を楽しく過ごす(あそび)健康的な生活ができるよう育てます(健康)思いやりのある子どもに育てます(こころ)思いを伝えられる子に育てます(表現)」等が掲げられています。園長の挨拶や先生がイラストで紹介され親しみやすくなっています。次には「園の生活」として一日の流れと年間行事が可愛いイラストで時系列に並べられています。他にもアクセスでは園の概要として住所や電話番号等の基本情報があり、必要な情報を保護者に発信しています。全体的に淡い配色で温かさが伝わります。</p> <p>区の担当課とは定期的に連絡を取り、小規模保育の施設紹介でも情報を伝えています</p> <p>区の担当課とは定期的に運営情報を提出する他、小規模保育事業の途中入園の申し込み先であり、様々な情報をやり取りしています。園のホームページをクリックすると区のホームページにリンクされるようになっています。保育園選びの相談に応じてくれる保育コンシェルジュのオンライン説明会申し込みにも繋がりが利用希望者には嬉しいサービスとなっています。小規模保育一覧の施設紹介では開所時間や定員、利用公園、年間行事、保育・施設の特徴、園からのメッセージ等の詳細な情報と保育室の写真がコンパクトにまとめられています。</p> <p>利用希望者からの問い合わせや見学には園長が丁寧に対応しています</p> <p>利用希望者の問い合わせは、ホームページからのメールや直接電話のほか、区の保育コンシェルジュ(保育施設の案内や預け先の提案をおこなう専門の相談員)の紹介があります。見学は園長が随時対応し、感染症予防対策のため1組ずつ、子どもが遊んでいる様子を見てもらうため16時或いは16時30分を勧めています。見学時は「入園案内」を渡して丁寧に説明する他、質問にも答えています。両親揃っての見学が多く、どこの公園で遊びますかや避難先は何处ですか等の質問があります。途中入園は園に空きがあれば区に申し込み可能となっています。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p>重要事項説明書に基づいて読み上げ、納得を得た上で保護者から署名・捺印を得ています</p> <p>途中入園の子どもは入園が決定すると、囑託医による健康診断を終えた後日に面談を、新入園児については新入園児説明会で健康診断と面談を実施しています。保護者には入園に関する必要書類を記載して持参してもらい、重要事項説明書に沿って、施設長が基本的な契約事項や保育時間、利用料金などを読み上げて説明しています。保護者からは納得を得た上で署名・捺印を得ています。園長や職員が園のルールや持ち物など園生活について詳しく説明しています。寝るときの癖やアレルギーの有無などの子どもの情報は全職員が把握し児童表にファイルしています。</p> <p>入園による親子の不安やストレスを軽減するため無理のない慣らし保育をしています</p> <p>入園という環境変化が子どもの心身に負担をかけないように、子どもの様子を見ながら徐々に時間を延ばす慣らし保育をおこなっています。保護者には事前アンケートで職場復帰の時期を聞いているため、保護者の事情や意向に沿って無理のない慣らし保育を進めています。保護者の中にはゆっくりと1ヵ月かける方もいます。子どもが慣れ親しんだ玩具やタオルなど持参してもらい、専任の保育者が好きな遊びに誘い、抱っこをするなどして信頼関係を築いています。保護者には子どもの様子を丁寧に話し、不安なことに寄り添い安心してもらえるようにしています。</p> <p>年度途中・末に転園する子にはお別れ会を開きいつでも相談に乗ることを伝えていきます</p> <p>本園は令和3年4月にオープンした0～2歳児の小規模保育事業所であるため、2歳児は卒園となっています。卒園や転園で新しい場所へ移っていく子どもについては、3月にお別れ会を予定しており、メッセージカードを作成して渡し、頑張れるように言葉をかけて送り出します。保護者にも不安や心配なことがあればいつでも電話や来園ください、と声をかけて新しい場所でも安心して頑張れるように励ましています。</p>		

サブカテゴリ-3

3 個別状況の記録と計画策定 サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 12/12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

全体的な計画を基に年・月・週の指導計画を作成し、個人別月案を作っています
全体的な計画を基に、各年齢ごとに1年を4期に分けた年間指導計画や保健計画書、食育計画書を作成しています。年間指導計画は月間指導計画、週案へと具体的に展開させています。月間指導計画ではその月のクラスと3歳未満児の個人別指導計画を作り、保護者の意向や子どもの発達の状況に応じたものとなっています。月末には目標や子どものことについてクラスで振り返り、今月の子どもの姿を踏まえて次月の計画に反映しています。今月のクラス目標は、園だよりの「クラスの様子」欄に記載する他、個別に連絡帳や口頭で保護者に伝えていきます。

子どもの様子は健康記録や保育日誌に、成長する姿は発達経過記録に記載しています
子どもの日々の様子は、受け入れ簿を兼ねた健康記録や連絡帳の他、情報端末の保育日誌にその子の生活や遊びなどを詳しく記録しています。各クラスには1台ずつ情報端末があり、各クラスの指導計画や子どもの情報がいつでも共有できるようになっています。子どもが成長していく姿は、児童表にある発達経過記録の指標に達成度をチェックしています。また、次年度参考となる事項には文章で記載しています。0歳児は毎月、1歳6か月からは2か月毎に記入し、在園中の記録が蓄積されていくようになっています。

朝の会や健康記録、情報端末、職員会議等で子どもの情報を共有しています
子どもと一緒に体操をおこない、一人ひとりの名前を呼んで朝の会をおこない、その中で職員全員での申し送りや、その日の連絡事項を伝えています。健康記録には、保護者から得た情報や園での検温結果、午睡時間、降園時に伝える伝達事項などを書き込んで連絡漏れがないように注意しています。また、月1回の職員会議と随時開かれるクラス会議では、全クラスの子どもの状況や援助方法、行事の取り組みなどについて話し合い、保育理念の「園での生活を通じ思いやりのある子どもに育てます」を実践しています。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>外部への個人情報の提供などは、保護者に説明し理解を得たうえで承諾してもらいます</p> <p>子どもと保護者・家庭のプライバシーを守ることは、「個人情報取り扱いに関する規定」で定めています。規定では、責任体制と窓口、職員に対する意識の向上、第三者への情報提供時の考えなどを伝えています。保護者には、入園時に契約書や重要事項説明書の内容を伝える際に、外部への個人情報の提供や園だより等発信媒体への掲載などについて説明し理解を得たうえで、承諾書を提出してもらっています。子どもたちへのプライバシーの配慮では、散歩に出かける時には名札をつけない、帽子に名前を書かないなどの対応を心がけています。</p> <p>子どもや保護者の価値観などを大切に、一人ひとりを尊重した保育を進めています</p> <p>園では一人ひとりを尊重した保育を大切にしています。子どもは一人ひとり遊びたい内容が異なるため、子どもたちの考えを受けとめ、様々な玩具やお絵描き、パズルなどについては、子どもが使いたい時すぐ対応するなど子どもの考えを受けとめた保育を進めています。保護者対応では保護者の価値観や考えを大切にすることに取り組んでいますが、食事マナーやしつけで保護者の意向に十分対応が取れない場面も見受けられ課題ととらえています。子どもたちの羞恥心への配慮では、オムツ交換は人目につかないトイレでおこなうなどの対応をしています。</p> <p>虐待が疑われる事案が発生した場合、チェックシートを活用し対応することにしていきます</p> <p>虐待防止の取り組みや育児困難家庭への対応は、「虐待対応マニュアル」で定めています。マニュアルでは、発生予防、早期発見、家庭への援助、関係機関との連携などを伝えています。虐待が疑われる場合には、速やかに職員間で情報共有をおこない、虐待予防チェックシートに記録することにしていきます。チェックシートでは、登園時の様子や遊び・生活の場面での様子、降園時の様子などを記述し見逃さないように取り組んでいます。職員は区の研修等に参加し対応を学んでいます。疑いが発生した場合は、関係機関と協力し対応することにしていきます。</p>		

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>子どもに関りのあるマニュアルから整備を進め、職員の確認できる場所に置かれています</p> <p>保育に直接関わる内容からマニュアルの整備を進めています。現在は、区が作成したマニュアルや姉妹園のマニュアルなども活用しています。保健衛生・食物アレルギー対応、新型コロナウイルス感染症予防・危機管理などのマニュアルが整備されています。マニュアルは事務室のキャビネットに保管し職員が必要な時にはいつでも確認することができるようにしています。マニュアルや手順書などはまだ十分に整備できていない部分も見られます。職員は保育の中で、マニュアルにより確認が必要な場面もありますのでマニュアルの整備が期待されます。</p> <p>職員間の話し合いを通し、職員の持っている知見を活かした取り組みが期待されます</p> <p>現在開園して間がないため、マニュアルや手順書などで園の保育の現状に即したオリジナルのマニュアル策定にはまだ取り組めていない状況が見られました。現在一部職員間で保育の進め方について統一的でない部分も見られるとの声が聞かれました。このような職員間の保育の進め方の違いについては都度話し合いをおこない、その内容を記録することが大切です。記録した内容をマニュアルや手順書に反映させることができると園独自の分かりやすいマニュアルになると思います。話し合いを通し、職員の持っている知見等を生かした取り組みが期待されます。</p> <p>保護者の意向を定期的に把握し、保護者の意見や要望を取り入れた保育が期待されます</p> <p>開園して1年未満のため、現在は毎月区の担当部門から園運営や保育の進め方についてアドバイスを受けて見直しを進めています。区からのアドバイス内容は職員会議で話し合い、保育の質を高める活動に生かしています。保育内容の向上では、保護者の意見や要望を定期的に把握し保育に生かす取り組みも大切と思われます。今回の第三者評価の保護者アンケートでは全員から「大変満足」「満足」の声が寄せられました。この高い評価を持続するためには、毎年定期的に、保護者会や保護者アンケートなどを実施し意向把握することが大切だと思います。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	34 / 34
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇)・非該当1	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	●非該当	
評価項目1の講評			
<p>連絡帳、保護者との対話など家庭と園の両面から全体的な姿を把握しています</p> <p>入園前の「入園までの状況」「家庭状況」等の書類や、入園後の保護者との会話や連絡帳、日誌、児童表、発達経過記録など家庭と園の両面から子どもの全体的な姿を把握しています。子どもの情報は全職員が共有して毎月、個別指導計画を作成し、きめ細かく保育をおこなっています。子どもが主体的に遊べるように年齢や興味・関心等に応じて玩具を入れ替え、玩具の箱に絵を貼り分かりやすくして手の届く所に置き、自ら好きな玩具を選べるようにしています。子どもの作品展示や季節感のある壁面装飾など、子どもと一緒に楽しめる工夫も望まれます。</p> <p>一人ひとりの子どもの気持ちを大切に受け入れ尊重しています</p> <p>園が子どもにとって家庭的で親しみやすい場であり、安心して楽しく集団生活を送れるように努めています。子ども一人ひとりの気持ちを尊重し、どの子にも同じように受け入れ尊重しています。2歳児が人数が少ないため、1歳児と合同保育をすることで、2歳児同士の遊びを大事にすると共に1歳児に対しておもちゃを貸してあげたり、優しくするなど成長しています。気になる子どもについては区の専門機関と連携し、保育の助言を基に保護者と職員全体で情報を共有して保育をおこない、子どもの中で伸び伸びと遊び成長できるように援助しています。</p> <p>発達過程で生じる子ども同士のトラブルは社会性を育むため大切なことと話しています</p> <p>子ども同士の玩具の取り合いなどのトラブルは発達の過程で起こりがちなことであり、社会性を育むために大切であることを入園説明会等で話し、保護者に理解を求めています。トラブルの際には、両者の気持ちを汲み取り、職員が仲立ちとなって落ち着いて話せるように対応しています。また、子どもには「貸して」「どうぞ」「ありがとう」と言葉で伝えることや、噛みつきの場合は「痛い」とこと「ごめんね」と言葉で知らせ、職員間では保育方法や玩具の数、人的環境を見直し、事前に守れるようにしています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登・降園時には保護者と職員が子どもの様子を丁寧に伝え合っています 保護者と保育者が子どもの様子を相互に伝えあうために連絡帳を使用しています。連絡帳には検温や食事、機嫌、就寝・起床時間、お迎え時間などが詳細に記載されこどもの生活リズムを把握できるようになっています。コロナ禍の為、登園時、子どもは玄関先で担任が受け入れ、検温と健康観察をし、保護者から連絡帳を受け取り家庭での様子や連絡事項等を細かく聞いて健康記録に記入し、職員間で情報を共有しています。子どもと職員は園で3回検温し感染症予防に努めています。降園時には子どもの様子を保護者に伝え、安心して帰宅してもらっています。</p> <p>年齢ごとのディリープログラムの生活の中で基本的な生活習慣が身につくようにしています 年齢ごとのディリープログラムを作り生活の流れを決め、その中で基本的な生活習慣を身につけるようにしています。食事では足がつかない場合は足台を置いて正しい姿勢で食べられるようにしています。手づかみからスプーンへの移行では食具の正しい持ち方や食器に手を添えるなどを伝え、手先を使う遊びを取り入れています。トイレトレーニングは保護者と話してゆっくりと無理のないように進めています。着脱面では自分でやりたいという気持ちを捉えて、その時に自分でできるような声掛けや環境を作るようにしています。</p> <p>家庭での睡眠時間やその子の生活リズムに合わせて昼寝をしています 昼寝は年齢や家庭での睡眠時間、体調等に配慮しながらおこなっています。0歳児は1回寝や2回寝もあることから一人ひとりの生活リズムを大切にしています。室内は床暖房や加湿器等を使用して心地よい環境を整えています。0歳児は月齢に応じてベッドと布団を使用し、なかなか眠れない子どもは保育者がおんぶして一人ひとりに寄り添い、眠りについた時点で布団に戻しています。午睡前には絵本の読み聞かせをして落ち着いて入眠できるようしています。早く目覚めた子どもは保育者のそばで静かに遊べるようにしています。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴含む)を実施している	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの遊びたいという気持ちを大切に受け止め遊びこめる時間をつくっています</p> <p>年齢に応じた玩具やブロック、ままごと、人形などを目につく場所に置き、自分で選んで主体的に遊べるようにしています。一人ひとり遊びたい内容は異なるため、子どもが使いたい時にすぐに使えるようにに対応しています。玩具を片付ける際には、すぐ壊すのではなく、片づけて良いタイミングを聞き、ブロックなどでどうしても壊したくないものはある程度そのまま片付ける他、子どもと一緒に片づけるなど子どもの気持ちに寄り添った対応を心がけています。子どもたちの生活や遊びが一人ひとりの個性や発達に見合うように職員間で話し合っています。</p> <p>歌や絵本の読み聞かせ、製作、体操など様々な表現遊びに取り組み楽しんでいきます</p> <p>乳幼児期は言語の発達が著しいため、0歳児はあやされて声を出したり笑ったりする中で、保育士の声や眼差し、スキンシップ等を通して喃語を促し、話しかけややり取りの中で声や言葉で気持ちを表そうとしています。また、生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りを保育士や友だちと楽しめるように計画を立て取り組んでいます。歌や絵本の読み聞かせ、紙芝居、ごっこ遊び等を通して自分の世界を広げていけるようにしています。年齢に応じて体操や音楽遊び、様々な素材を使用した描画や製作、ごっこ遊びなどもおこなって楽しめるようにしています。</p> <p>晴れた日には散歩や近隣の公園に出かけて体を動かし季節の変化を感じています</p> <p>晴れた日には、散歩や近隣の公園に出かけて探索活動や砂場遊び、ボール遊び、追いかっこをするなど体を動かして遊んでいます。園の周辺やマンションの下の散歩では走ったり、花や虫を探したり、落ち葉を拾って季節を感じながら楽しんでいます。0歳児は散歩中にバギーの中で眠ってしまうほど外気浴を堪能しています。夏には、沐浴槽でシャワーをしたり、玄関や室内にシートを敷き、たらいに水を入れて服のまま水遊びを楽しんでいます。遊びや生活の中で、玩具の貸し借りや順番を待つなど我慢することで仲よく遊べることを体験しています。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は歌や製作に取り組みながら、興味を持ち楽しめるようにしています</p> <p>コロナ禍ですが、毎月の誕生日会や夏祭り(七夕まつり)、クリスマス会、運動会遊び等を実施しています。子どもは季節や行事に因んだ歌や製作、室内装飾などで興味や期待を膨らませられるようにしています。七五三や節分等の製作物は持ち帰り、家でも楽しめるようになっています。誕生日会では誕生日児が前に出て主役となってインタビューに答えています。今月の歌と誕生日カードをプレゼントされ、作り物のケーキのろうそくを吹き、職員による歌や、子どもが好きな働く車のペープサートなどの出し物をして、みんなからお祝いされています。</p> <p>運動会あそびやクリスマス会などでは発表する場を設けて達成感を味わっています</p> <p>行事はコロナ禍で実施することは難しいですが、感染対策を取り今できることを職員で考え、子どもたちが楽しんでいることや夢中になっていることを発表する「成長発表会」の場として取り組んでいます。運動会あそびは、普段の保育中に子どもと職員でおこない、0歳児はマットのなだらかな山をよじ登り、段ボールくぐりを、1歳児はかけっこ・トンネルくぐり・体操を、2歳児はかけっこや障害物レースをやりきる姿に成長を感じました。クリスマス会で1・2歳児は保護者の前でプチ音楽会を披露し、サンタさんにプレゼントをもらい楽しみました。</p> <p>年間行事予定表を配付して参加しやすく配慮し、子どもの成長の姿を伝えています</p> <p>保護者には年度初めに年間行事予定表を配付し、保護者が都合をつけやすいよう配慮しています。運動会や保護者会等の行事は感染症拡大の観点から中止となっています。運動会あそびでは、業者のカメラマンに子どもが頑張っている、成長している姿の写真を沢山撮ってもらい保護者に知らせています。夏祭りでは保護者に浴衣や甚平を用意してもらうほか短冊に願い事を記載してもらい、クリスマス会には2歳児のプチ音楽会の洋服を依頼するなど協力をしてもらっています。行事の様子は園だよりの中のクラスの様子や写真で伝え、理解を求めています。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもは少人数で家庭的な雰囲気の中で、兄弟のように安心して遊んでいます</p> <p>7時30分～18時30分まで開園しています。子どもたちは16時過ぎに1歳児室に集まり合同保育となります。ゆっくりと遊べるように子どもの好きな人形や絵本等を出しています。小規模保育事業所の利点である少人数や家庭的な雰囲気の中で、兄弟のように過ごし安心して遊んでいます。夏の間は水分補給を心がけています。人数が少なくなると保育者は子どものそばで一緒に音楽をかけたり、マラカスなど個数が限られた特別な物を出し1対1の関わりを大切にしています。</p> <p>子どもとクラス以外の保育者とも信頼関係ができており楽しく過ごしています</p> <p>担任以外の早番や遅番の保育者とは、朝の体操や1・2歳児の合同保育、行事等と一緒に過ごすことが多いため、信頼関係ができており甘えてくる姿があります。全職員が子どもの情報を共有しているため、好きな遊びを提供することができています。体操や踊りのCDをかけて体を動かして楽しむこともあり、動いた後は絵本を見たり、絵を描くなど静かに遊ぶようにしています。保護者には各クラスから引き継いだ子どもの様子や連絡事項をしっかりと伝えていきます。遅番担当は「遅番カード」に何かあれば記載して翌日に報告しています。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>給食は調理師が旬の食材で薄味に調理し子どもが楽しく食事ができるようにしています</p> <p>献立は保育ママが使用するものを区役所からもらい、サイクルメニューとなっており、子どもの食べ具合を見て2回目は味や切り方など工夫しています。国産の安全で旬の食材を薄味に調理する他、鰹節でだしを取り味覚を育てています。開園1年目で人数が少なく、子どもは1テーブルに3人ずつとゆったりと座って食事をしています。子どもの年齢や体格に合わせて、テーブルやテーブル付きのイスなどを選び、足がつかない子どもには台を置き、正しい姿勢で食事を摂れるようにしています。保育者は声をかけて食事を楽しめるようにしています。</p> <p>離乳食は後期食から提供し、食物アレルギー等にも対応した食事をおこなっています</p> <p>離乳食は月齢や発達状態を見ながら刻み食の後期食から提供し、これまでの離乳食の詳細を保護者に教えてもらい、日ごろから食べている食材を使用しています。初めての食材は、家庭で何回か食べてもらい何事もなければ提供するようにしています。食物アレルギー対応では医師からの食物アレルギー生活管理指導票を提出してもらい、除去食等を提供しています。献立はアレルギー源である卵を使わない食材を選んでいます。園では保護者・保育者・調理師が献立の食材を確認し、専用の配膳トレイや食器、テーブルで誤食がないようにする体制を整えています。</p> <p>食育計画書を作成し、食事のマナーを身につけみんなと喜んで食べるようにしています</p> <p>食育計画書では、保育園の食事や色々な食材に慣れる、保育士や友だちと一緒に楽しんで食べる、を目標としています。子どもには正しい姿勢・食事の挨拶・食具の持ち方等のマナーの他、体を動かして空腹時に美味しい食事を、みんなで食べる楽しさを味わえるよう努めています。区では毎月「食育・やさいの日」を設け、旬の野菜を取り入れた食事を提供しています。区推奨の食べ方は好きなものだけでも良いとなっていますが、長時間保育園で過ごすことを考えると健康・栄養面で課題となり、今後の食事の取り方が検討事項となっています。</p>		

7	<p>評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>自ら病気やけがを予防できるように手洗いを習慣づけ、公園では約束事を話しています</p> <p>病気から身を守るため、年齢に応じた方法で手洗いや鼻が出たらティッシュで拭くなど丁寧に伝えていきます。コロナ禍により子どもたちは意識して手を洗う姿があります。安全面ではコーナーにはクッション材を付け、ドアの開閉は先生に伝え、遊びが密集しないよう配慮しています。公園等に行く時は友だちと手をつなぎ、信号の色を確認して渡る等の交通ルールは都度知らせています。公園に着いた時に今日遊ぶ遊具や場所を伝え他の場所は行かない等の約束を繰り返し話しています。毎月の避難訓練では保育者の元に集まり指示で動けるようにしています。</p> <p>原則として園では与薬をおこなわないが、医師の指示により与薬指示書等を得ています</p> <p>子どもの健康を守るため、嘱託医による健康診断を0歳児は年4回、1・2歳児は年2回実施し、毎月の身体測定その他コロナ禍のため子どもと職員は1日3回検温をするなど注意を払っています。健康診断や身体測定の結果は連絡帳最後のページで保護者に知らせています。嘱託医とは常に連携し、保護者の心配な事の相談や給食の進め方等で助言を得ています。けがや事故が発生した時には、主に嘱託医で受診すると共に保護者へ速やかに連絡しています。与薬は、園では原則としておこないませんが医師の処方薬に限り与薬指示書等を受け確実にこなしています。</p> <p>保護者と連携して健康維持を図り、乳幼児突然死症候群の防止に努めています</p> <p>食物アレルギーや慢性疾患がある場合は、主治医等の指示を受けて園と保護者が連携し対応しています。入園案内の病気などについての項目では、集団生活が不可能な症状や罹りやすい感染症情報を掲載しています。罹患した時は登園許可書の提出を得ています。感染症が発生した場合は、病名などを玄関に掲示するとともに、保護者に注意喚起しています。乳幼児突然死症候群の防止では、0歳児は5分、1・2歳児は10分毎に呼吸をチェックしてうつぶせ寝は直し、0歳児はお腹にセンサーを付けていますが、保育士がそばで触れて見て確認しています。</p>		
8	<p>評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の事情に配慮して土曜保育等を実施し、相談にはいつでも応じています</p> <p>子どもの家族に喜ばれる価値のある地域密着を園は目指し、地域の人に豊かな暮らしを提供したいと考えています。保護者が安心して子育てができるよう個々の事情に配慮して、土曜保育やおむつを園で処分するなどおこなっています。急な残業にも可能な限り受け入れる他、保護者の仕事休みや土曜保育で園を利用してもらうよう声かけをしています。初めて集団生活を経験する保護者には、園で子どもが遊んでいる様子などを細かく伝え安心してもらっています。毎日の送迎時や、いつでも相談に乗り話を聞いています。</p> <p>夏祭りやクリスマス会を実施し、保護者同士と職員との関係が深まるようにしています</p> <p>行事は金曜日のお迎え時間を少し早めて1時間ほどで疲れないう配慮しています。入園式や夏祭り、クリスマス会等の行事は業者のカメラマンに沢山の写真を撮ってもらい思い出作りをしています。夏祭りは、保護者に書いてもらった短冊を飾って雰囲気を出し、感染症対策を取り保護者1名の参加でした。子どもは浴衣や甚平姿で、魚釣りやお面作りのコーナーを親子で回り、皆で体操や踊りを楽しみ交流しました。クリスマス会では0歳児は保育参加、1歳児はマラカス遊び、2歳児は表現遊び等を披露し、サンタさんにプレゼントをもらい親子で楽しみました。</p> <p>子どもの発達や悩みなどは連絡帳や送迎時に話を聞き保護者の気持ちに寄り添っています</p> <p>子どもの発達や食事、イヤイヤ期の対応などの悩みについては、連絡帳や送迎時に話を聞き、保護者の気持ちに寄り添いながら園での取り組みを話しています。保護者会が中止となったことで、保護者同士の情報交換等ができないため、コロナが落ち着いたら保育参加を随時おこなっていきたくと考えています。ちぐさだよりには今月のクラス目標を掲載して保護者と共通認識を持って子どもを育てていくようにしています。給食は写真で保護者に伝え、子どもとの会話が弾むようにしています。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の公園や園のあるタワーマンション周辺を散歩し地域の人と挨拶を交わしています</p> <p>園は令和3年4月、タワーマンション2階に地域密着の小規模保育園として開園したばかりです。子どもたちが公園に行く途中や、園のあるタワーマンション周辺を散歩していると、地域の人や親子、マンションの警備員、いつも通る商店街等の多くの人々と挨拶を交わし顔なじみとなっています。公園に行く途中で、電車の音に合わせて子どもが足を屈伸したり、リズムに乗るなど楽しんでいます。夏祭り等の行事に訪れ写真を撮るカメラマンとは緊張しながらも徐々に慣れて笑顔で関わっています。今後は地域の資源を活用し生活の幅を広げたいと考えています。</p> <p>コロナ禍に開園したため、落ち着いたら地域のイベントに参加したいと考えています</p> <p>園はコロナ禍に開園したため、園の行事に子育て親子や地域の人等に参加を呼び掛ける、地域の行事も多くが中止となっているため参加する事は難しいです。子どもたちが地域の中で見守られて成長するため、コロナ感染症が落ち着いたら地域のイベントを見つけて参加したいと考えています。また、園の行事に地域の人を呼び交流の機会を持ちたいとも考えています。将来的には、子どもが降園した後の時間帯には、卒園児が集まって来るなど、子どもたちの居場所として活用できればと考えています。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-2-1	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている
タイトル①	情報ツールを活用し、職員の業務の効率化や職員間の情報共有などに取り組んでいます	
内容①	園では、情報端末などを活用した保育に取り組んでいます。保育の現場では数多くの書類の作成が発生し職員の業務負担になっていますが、当園では、「全体的な計画」「年間保育計画」「月案」「週案」「日誌」などは、情報端末を活用することで業務の効率化をおこない、保育に取り組む時間の確保を進めています。入力した内容は全職員が確認することができ、情報の共有にも結びついています。そのほか、マニュアルや手順書、勤怠管理などの電子化も進めています。積極的な情報化で、保育環境の整備と保育内容の向上に力を入れています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル②	全職員が総力を挙げて園の認知度を高めるなどに取り組み、入園者の増加を進めています	
内容②	入園者の増加を重点目標として取り組んでいます。駅近なことや区の新園整備が完了し最後の新規園になったことで当園への関心が高く多くの見学がありますが、入園者増加の成果がまだ十分にはあがりません。保育士採用の困難さや新組織ならではの課題も見られますが、園では区のアドバイスを生かし保育の内容の見直しを進めるほか、地域の小規模連絡会に加入し事業所相談会などに参加して、園の認知度を高めるなどに取り組み入園者の増加を進めています。運営上の課題も職員間で共有するなどに取り組み、全職員で課題解決を進めています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
タイトル③	毎月関係機関からのアドバイスを受け、保育の改善・向上に取り組んでいます	
内容③	開園して1年未満のため、毎月区の関係部門からアドバイスを得ています。アドバイスの内容は、保育観察記録にまとめられています。内容は、食品の取り扱い時の手法、アレルギー対応食の提供、洗浄・消毒、給食の提供のほか園外活動など多くの内容が伝えられています。この保育観察記録を職員会議で話し合い保育の見直しを進めています。このような取り組みもあり今回の第三者評価の保護者アンケートでは、回答を寄せられたすべての利用者から園の運営について、大変満足等の声が寄せられました。アドバイスを生かしたさらなる保育の向上が期待されます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	コロナ禍においても、毎月のお誕生日会や運動会あそび、保護者参加の夏祭りやクリスマス会を実施して楽しめるようにしています
	内容	コロナ禍においても、毎月のお誕生日会をおこない子どもは主役となってインタビューを受け、プレゼントをもらってみんなにお祝いをされています。運動会あそびはこどもと職員だけでしたが、トンネルくぐりや体操、かけこを頑張りました。保護者参加の夏祭り等は保護者1名の参加と制約はありましたが、子どもとゲームや盆踊り等を楽しみ、クリスマス会では、0歳児は通常保育の様子を参観し、1・2歳児は歌や音楽に合わせてマラカスを振るなど成長した姿を見てもらいました。これらの行事の写真はカメラマンに撮ってもらい思い出作りをしています。
2	タイトル	小規模保育所の利点を生かした少人数で、家庭的な雰囲気の中で一人ひとりに応じたきめ細かい保育をおこなっています
	内容	令和3年4月タワーマンションの2階に開園した地域密着の小規模保育所です。園は新築で家庭的な雰囲気があり、少人数で子どもたちは兄弟のように過ごしています。一人ひとりの子どもに応じた個別指導計画を毎月立てて保育をおこなっています。一人ひとりの気持ちを大切に、十分に甘えられるように話を聞き、どの子も同じように関り、保護者の不安や子育ての心配事などいつでも相談に乗り、保護者と連携して子どもの成長を見守っています。連絡帳には、園での子どもの様子や遊び等を細かく保護者に分かるように記載して安心してもらっています。
3	タイトル	保護者の相談や悩みに寄り添った対応に取り組み、保護者から信頼される保育が進められています
	内容	園長は保護者との良好な関係づくりが大切と考え取り組んでいます。毎日の送迎時には保護者の声に耳を傾けるなど保護者に寄り添った丁寧な対応をしています。日々の保育でも子どもたちとのコミュニケーションを大切に、子どもたちの目線で保育に取り組む、保護者からの相談には親身な対応を進めています。保護者からは、日々の保育での取り組みを見て子どもを大切にもらっている、子どもを安心して預けることができるなどの声が寄せられました。今後も取り組みを継続し、子どもや保護者の意向を大切に保育に取り組むことが期待されます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもの作品を掲示したり、季節の装飾で壁面を飾るなど、子どもと一緒に楽しめる保育環境が期待されます
	内容	令和3年4月小規模保育所として開園し一年を迎えようとしています。子どもは初めての集団生活であり、職員も初めてのチームであるため、子どもと向き合い、手探りの中で保育を進めるなど大変なことが多かったと思われます。2年目は室内に子どもの作品を掲示したり、壁面に子どもと一緒に季節の装飾をつくらせたり、年齢に応じた手作り玩具をつくって遊びを発展させたり、今までと違う玩具を提供するなど保育環境にも目を向ける余裕があればと思います。
2	タイトル	園の認知度を高め、安定した園運営を実現するために各課題に対処した施策を検討し中・長期計画としてをまとめることが望まれます
	内容	本年を新規園としての土台作りの年とし、これからの園の認知度を積み上げるために、中・長期の考えを計画としてまとめることが望まれます。すでに5年後の入所率90%を目標に設定し数値的な年度別損益計画書は作成しました。しかし首都圏での保育経験者の採用の困難に直面し、待機児童対策が進み定員割れの園の増加が予想されるなかで入所率の向上は厳しいものがあります。保育の質、営業力、人材や、安全管理などの各テーマごとの課題の施策を検討し、文書化して中・長期事業計画として職員間で共有してもらうことが望まれます。
3	タイトル	経営層の組織マネジメント面の方針・施策や取り組みに対して職員の協調性を高めるため、コミュニケーションの改善が望まれます
	内容	保育や行事の計画・実施は職員の培われた経験や園長との意見交換で保育サービス面は円滑に運営されています。しかし組織マネジメント面における方針や案件に対する意思決定、職員の育成などの計画や取り組みに対して経営層と職員の考え方に乖離があり、職員の同意や協調度は低いことが評価結果からわかりました。経営層が、事業の立ち上げ時に職員と十分な情報交換が果たせなかったことも要因の一つと推測されます。対話・意見交換を進めることにより経営層と職員の考えを園全体が共有できるようコミュニケーションの改善が望まれます